

電源立地地域温排水対策事業 (東通地点) (要 約)

小倉大二郎

温排水を有効利用したアワビ養殖の可能性について検討するための基礎資料を得ることを目的として、アワビ養殖試験を実施した。なお、詳細は「平成8年度電源立地地域温排水対策事業調査報告書（東通地点）」（平成9年3月、青森県）として報告した。

アワビ養殖試験

青森県栽培漁業公社生産の平成4年産エゾアワビ稚貝（平均殻長21.34mm）約2,000個を、平成5年6月26日からプラスチック製籠（MA-50型、52×35×27cm）10個に200個／籠で収容して、東通村白糠漁港内（水深10m）で海面養殖試験を実施した。平成8年12月の平均殻長は76.27mm、平均重量は64.35g、生残率は25.7%であった。

春から秋にかけて水温が15℃以上になる期間の成長が大きく、冬から春にかけて水温が15℃以下になる期間の成長が停滞する傾向がみられた。

殻長50mmサイズまでの減耗が大きく、給餌間隔の短縮や籠掃除の徹底等の管理作業を改善し減耗を防止することが重要である。また、50mmサイズ以降では付着物や養殖籠の交換の際に生じる、剥離時のアワビ軟体部の損傷が減耗要因となっており、麻酔剤等を利用して慎重に剥離作業を行うと共に養殖籠内の飼育密度の検討が今後必要になると考えられた。

表1 アワビ養殖試験測定結果

年 月 日	平均 殻 長 (mm)	平均 重 量 (g)	生 残 率 (%)
平成5年6月26日	21.34 (1.25)	1.32 (0.27)	100.0
9月25日	26.93 (3.13)	2.67 (0.90)	94.0
平成6年3月9日	34.03 (4.45)	5.73 (2.20)	75.5
6月26日	35.60 (5.24)	7.01 (2.94)	59.5
11月26日	51.61 (8.86)	21.36 (9.78)	41.0
平成7年2月16日	52.61 (8.86)	22.46 (10.06)	38.5
6月16日	54.47 (9.76)	26.64 (13.26)	37.9
11月21日	66.27 (6.77)	43.95 (12.65)	36.1
平成8年3月6日	67.63 (7.80)	47.18 (15.36)	34.3
11月19日	75.63 (8.15)	63.56 (20.24)	26.9
12月24日	76.33 (8.01)	64.35 (20.35)	25.7

() 内は標準偏差